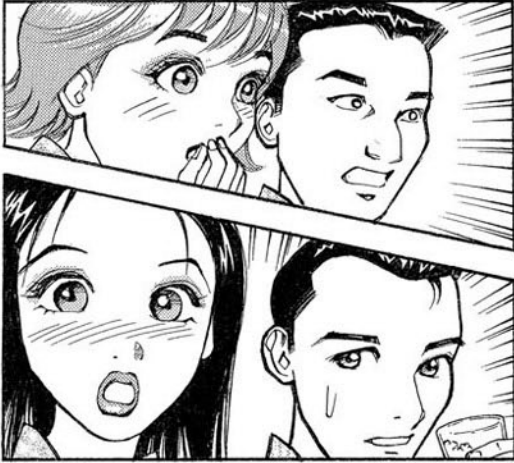


大島岳詩

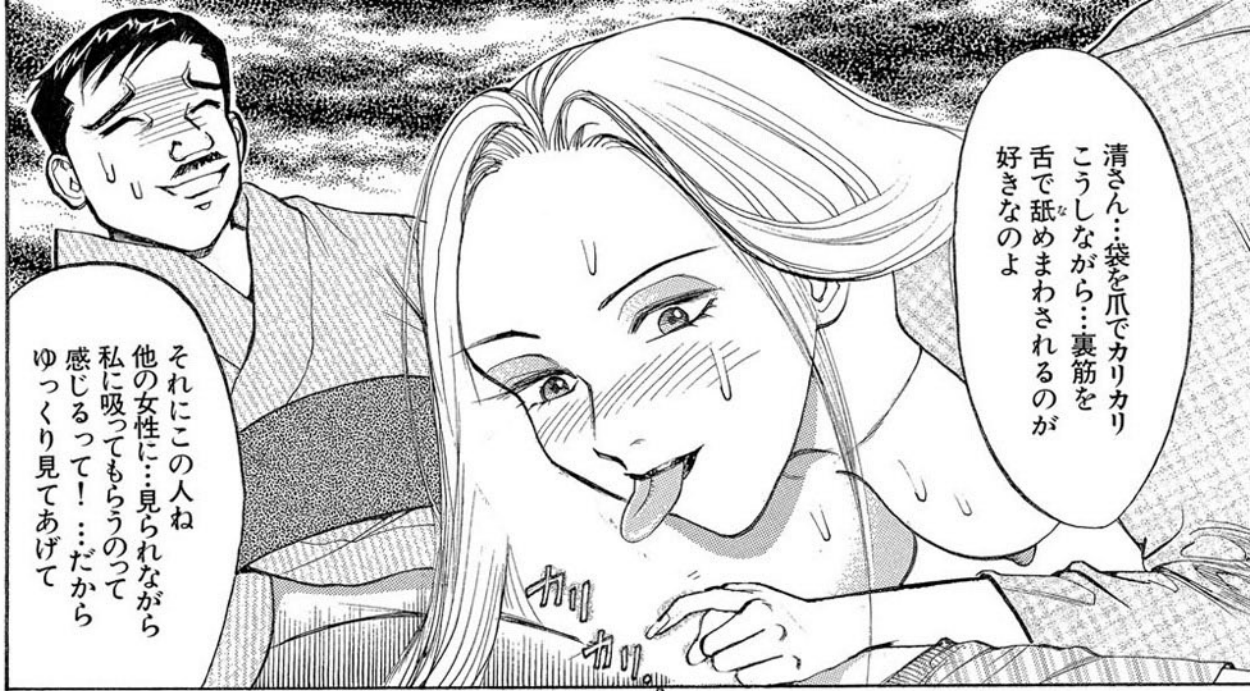
ヨガリ
顔

人妻性奴
夫以外で





私は二人から視線を
はずせず真美の口元を
見ていました……
赤黒いそれがふくらみ
ご主人が快樂のうめきを
たまらずもりました……
私の他の3人も黙って
真美のフェラを
見ていたんです……



清さん…袋を爪でカリカリ
こうしながら…裏筋を
舌で舐めまわされるのが
好きなのよ

それにこの人ね
他の女性に…見られながら
私に吸ってもらうのって
感じるって!…だから
ゆっくり見てあげて



ああ…
亜樹のご主人たら
本当にヤンチャ
なんだから…ッ



ハッ!?



そんな…
私たちは覗きの
趣味なんて…ッ



沢田さんのご主人が
ボクの妻にちよっかい
だすなら……

あッ

ボクも温泉に入った時から
欲しくてたまらなかつた……
奥さんのこの胸を……!

あッ……ああん
……ッ!

ふと気がつく
夫は恵美の股間に
吸い付いていました
舌と指がいやらしい音を
たてながら
学生時代からの友人だった
恵美の陰部に
出入りしているのを見て
私の中で何が
はじけたんです

恵美のご主人の……
さつき見た……大きなモノ
……私のお口で味わって
みたい……!



締まってる？
私のオマ○コ…
気持ちいい…!?



真美つたらあんなに
お尻ふって…卑猥な言葉で
ご主人を興奮させて
るんだわ

いっぱい恥ずかしいほど
愛液たらしちゃって…
いやらしい……ッ



うっ…



私は意を決して
恵美のご主人のペニスの
先端を舐めたんです



私にも露出願望があつたのかもしれない……
夫の視線がペニスを淫らにくわえこんでいる私の口元に注がれているのを感じたとき……
私の陰部から熱い汁が垂れたのです……

そして
そのことに気づいた
恵美のご主人は……



恵美のご主人は
私をヒザの上に乗せ
横抱きにしてキスしました
そして浴衣の裾を割り
私の両足を徐々に夫の方へ
広げていきました



おツ亜樹さん
けっこうマゾっぽいですね
じゃあもつと開発して
あげましょう

えッ……何するの
……?



ああ……
下着が丸見え……ッ

亜樹さん ハデな下着
つけてるんですね……
意外だな

亜樹 アソコの部分……
シミになってるわよ……
本当はもっと見て
もらいたいんじゃないの？

恵美のご主人
亜樹の下着すらして
みて！

エ……ッ!?

真美の言葉に
素早く反応した
恵美のご主人は
私に反抗させる間もなく
下着に手をかけ一気に
……!

そ……そんな……
みんなで私のマ○コを
覗きこまないで……ッ

亜樹 さつきから
ずっと発情していたの……？
いやらしいッ

すっげー……
濡れまくって……ここも
少し開いてヒクついて
ます

自分の発した言葉とは裏腹に…
見られているという興奮で
私のいやらしいマゾの穴から
どんどん濁った本気汁が
あふれ始めついにには
お尻の方までたれてきました

恵美のご主人は
みんなの目の前で
そのいやらしい穴を
いじり回すんです…

ほうら…ボクのモノを
もつと口いっぱいにはおぼって…
そこで見物してるご主人を
嫉妬させましょう…

ああ…恥ずかしい…ッ

突然私のくわえていた
恵美のご主人の巨大なモノが
大きくなり始めたんです

私はあまりの大きさに
思わず吐き出して
しまいました

うれしいッ！
孝ちゃんちゃんと勃起した
じゃないの！

